福山支局 〒720-0815
福山市野上町1-9-27
(代)084-927-1111 FAX 927-1114
広島総局 〒730-0042
広島市中区国泰寺町1-3-20
(代)082-243-0101 FAX 243-0103
呉支局 〒737-0051
呉市中央2-6-10 村上ビルII3-A
(代)0823-22-5425 FAX 22-5426
三原通信部 0848-62-2920
尾道通信部 0848-23-3211
府中通信部 0847-45-6909
竹原通信部 0846-22-0788
三次通信部 0824-63-5241
東広島通信部 082-422-5303
ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/hiroshima/
折込広告は 084-921-7211

猫山スキーバスツアー 毎日運行中 7名以上
大手パッケージツアー ビザ・マスターカードで 5%還元
中国トラベル福山支店
☎084-940-3344
松永・府中・尾道・三原支店

選 今年の選挙

	世羅町議(12)
10月23日※	安芸太田町長
11月29日※	熊野町長
11月30日※	安芸高田市議(16)
12月4日※	江田島市長 神石高原町長 神石高原町議(12)

(※は任期満了日)

三次市など6市町の議選が予定されている。最初の選挙は3月29日告示、4月5日投開票の福山市議選となる。

首長選は4月5日告示、12日投開票の安芸高田市長選で始まる。3期務めた現職・浜田一義氏(76)が引退を表明。県議が立候補の準備を進めている。県議が市長選出馬のために辞職すれば、合わせて県議補選も実施される予定だ。

福山市長1期目の枝広直幹氏(64)は9月に任期満了を迎える。まだ、再選に挑むかどうか態度を明らかにしていない。今のところ、他に立候補を表明した人はいない。選挙では、JR福山駅周辺の再開発を軸とした中心市街地の活性化、西日本豪雨を踏まえた災害に強いまちづくりが争点になりそうだ。

世羅町は町長、町議選が10月20日に告示される。

江田島市長選に向けては、1期目の明岳(あきおか)周作氏(65)を含め、これまで出馬の意向を明らかにした人はいない。

6月に任期満了となる府中町長の佐藤信治氏(66)は、昨年末の町議会で、再選を目指して町長選に立候補することを表明した。

議員選では、議会改革への取り組みなどのため、今年の選挙から定数を削減するところがある。福山市は定数が2減の38となり、激戦が予想される。安芸高田市、世羅町も定数がともに2減る。

福は内 幸運つかめ

福山城で豆まき

まかれる豆に手を伸ばす市民ら(福山市で)

福山市の福山城天守閣前広場で4日、「日本一早い豆まき」と銘打った新春の催しが行われた。詰めかけた親子連れらが今年の幸運を願い、まかれた豆を求めて手を伸ばした。

「豆徳」という屋号を持つ福山市胡町の「徳永製菓」(上迫豊社長)や市民でつくるグループが、2017年から開催。金色の粉などで包んだ豆菓子約1万袋を用意し、主催者のメンバーがステージに立った。「福は内」の掛け声に合わせ、次々に投げると、来場者は競い合うように腕を差し出した。

2袋をゲットした福山市の会社員藤原芳美さん(35)は「育児と仕事を頑張る1年にしたい」と意気揚々。長女の六花(りっか)ちゃん(5)は3袋を手にし、「今年はいっぱい遊んで楽しみたい」とほほ笑んでいた。

福山の住宅火災 2遺体身元判明

福山市内海町で3日夜、住宅が全焼し、2人の遺体が見つかった火災で、福山西署は4日、2人の身元について、この家に住む無職幸子さん(78)と判明したと発表した。

同署によると、全焼した住宅は木造2階建て約100平方㍍。1階部分の焼け方が激しいという。

中尾敏正さん(90)、妻の

おくやみ

◆福山市 ▼卜部文晶(ふみあき)さん(59)=駅家町江良。告式は4日に営まれた。喪主は妻、友江さん▼高尾泰さん(68)=神辺町東中条。告式は6日午前11時、神辺町下御領276の1JA福山市御野ホール八重桜。喪主は長男、俊輝さん。

おくやみ記事は読売新聞オンラインでもお読みいただけます。お近くの読売新聞販売店(YC)がお届けする招待状のIDで会員登録してからご利用ください。

上笑顔を見せる高橋さん
下小学5年の時に立てた1年間の目標(小学時代の恩師・樋口さん提供)

記者から

挑戦続ける姿 応援

取ば
くで、
練習する
だった。
ずしり
は、当た
じて守備
た。両耳に
ボールの
タイミン
た。
「ホン
と高橋さ
くの人と
知ったの
ールのお
将来は特
目指すと
果敢に挑
後も応援

福山市沼隈町能登原に伝わる新年の伝統行事「能登原とんど」を紹介する写真展が、同町常石の市沼隈図書館1階ロビーで開かれている。14日まで。

能登原とんどは、地元の6地区がそれぞれ松や竹、わらなどを組み上げて高さ約10㍍のとんど飾りを作り、市立能登原小で毎年1

後2時から開催。能登原とんど保存会の北村滋充会長(78)は「地域の宝で、途絶えさせるわけにはいかない。写真を通じて、住民に頑張って続けている姿をみてほしい」と話す。

午前10時～午後7時(最終日)、祝日は午後6時まで。問い合わせは図書館(0847・987・5630)